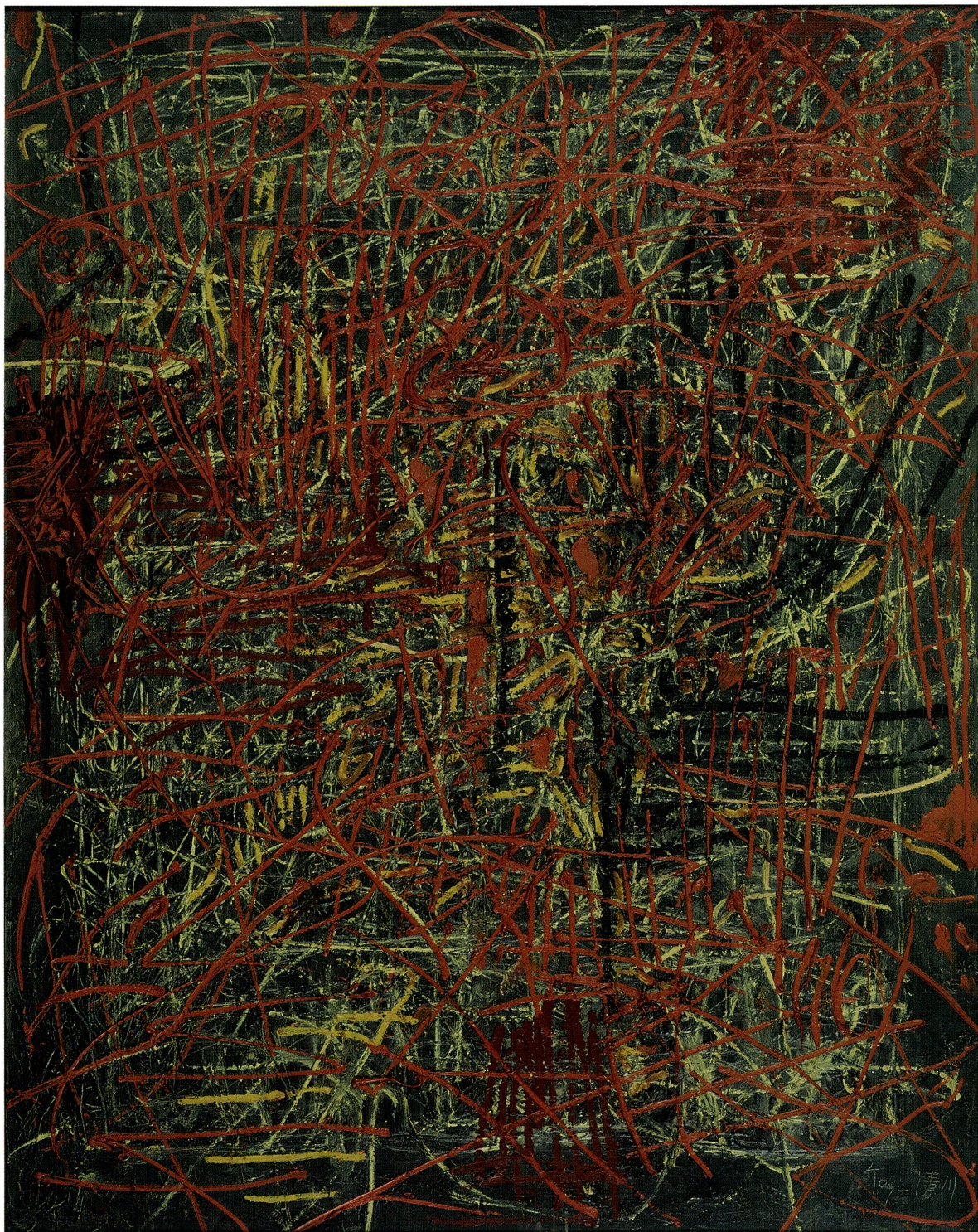


清川泰次 — 線を曲げて



〈気ままな朱〉1959年

2014年 12月 20 [土] — 2015年 3月 22 [日]

開館時間_10:00~18:00[最終入館は17:30まで]

休館日_毎週月曜日[ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌日休館] 年末年始[12月29日~1月3日]

観覧料_一般200円[160円]、大高生150円[120円]、65歳以上/中小生100円[80円]

※障害者の方は100円[80円]。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者[当該障害者1名につき、1名に限る]は無料。

証明書を提示のうえ、お申し出ください。

※[]内は20名以上の団体料金。※小・中学生は土、日、祝・休日は無料。

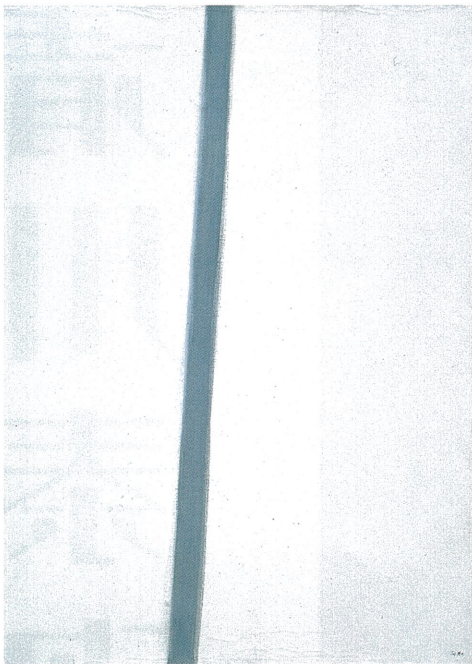
交通案内_小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL 03-3416-1202 <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



黒い一線
 が走っている
 大きな白いキャンパスの中を
 上から下へ
 真直ぐに

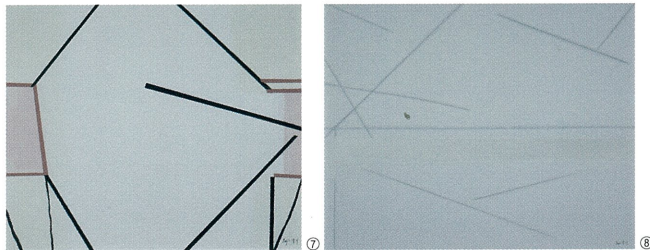
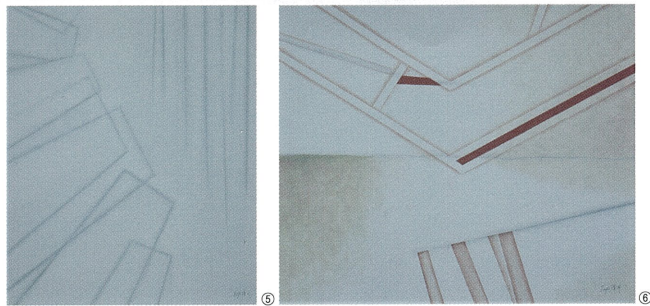
もう右へも左へも
 どうすることも出来ない
 一点の色も
 すでに
 墮落だ

静中静をさそい
 動中動をよぶ
 寂然として
 無の心
 脈々と
 私を打つ

清川泰次「絵と心」1967年より

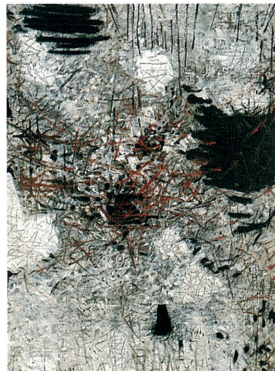
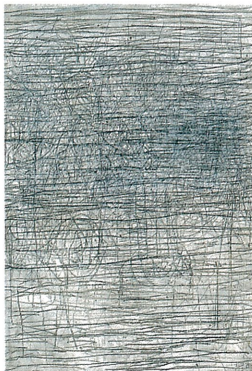
① 清川泰次(1919-2000)の絵画の線は、実に様々に変化していきます。初期の作品に見られる、モノをかたちづくるための輪郭としての役割だった線は、次第に、線、それ自身が主役となっていきます。主役となった線は、その後多種多様なバリエーションで展開していきます。画面に塗った絵の具を、鉛筆で引っ掻いた鋭い線の作品、絵の具のチューブを絞りだした柔らかで、立体的な線の作品など、清川泰次は、様々なマチエールの線に挑戦します。そして複雑に絡んでいた線は、時に禁欲的なまでのシンプルなお線で構成された作品や、リズムカルな動きのある線へと変化していきます。

清川泰次 線をゆぐて



① (Painting No. NY2166) 1966年
 ② (白の中の横線群) 1957年
 ③ (季節の外—59) 1959年
 ④ (Painting No. SF3564) 1964年
 ⑤ (Painting No. 684) 1984年
 ⑥ (Painting No. 4190) 1990年
 ⑦ (Painting No. 996) 1996年
 ⑧ (Painting No. 381-B) 1981年
 ⑨ (ペリジャンでおおわれた作品) 1955年頃

本展では、清川泰次の作品から「線」に注目し、初期作品から晩年までの作品、約15点をご紹介します。豊かで、様々な可能性が広がる線の魅力を、清川泰次の作品を通じて発見いただければ幸いです。
 小展示室では、清川泰次が大学の写真部に所属していた頃の、構図などにこだわって撮影していたモノクロ写真も併せてご紹介します。



世田谷美術館分館

清川泰次 記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL 03-3416-1202

<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

交通案内 小田急線「成城学園前」駅南口から徒歩3分

世田谷美術館の分館、清川泰次記念ギャラリーは成城の閑静な住宅街にあります。温かみのあるモダンな建築の前には芝生が広がり、四季折々の草花が咲きます。当館は、清川泰次のアトリエ兼住居だった個人宅を一部改装したもので、規模は大きくありませんが、落ち着いた雰囲気でご鑑賞いただけます。併設された区

民ギャラリーは、区民の方々の創作活動の発表の場として、週単位で、様々な展示が開催されています。(展示予定はホームページをご覧ください)

清川泰次の作品を展示している小展示室では、お茶を飲みながらゆっくりと関連図書などをご覧ください。



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL 03-3415-6011 (代表)

展覧会のご案内: TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

<http://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

※詳細はホームページなどをご確認ください。

同時開催企画展

- 難波田史男の世界～イメージの冒険～
2014年12月6日(土)～2015年2月8日(日)
- 東宝スタジオ展 映画=創造の現場
2015年2月21日(土)～4月19日(日)

同時開催ミュージアム コレクション

- 塩田コレクション 北大路魯山人展
2014年9月28日(日)～12月21日(日)
- 世田谷に住んだ東宝スタジオゆかりの作家たち
2015年1月4日(日)～4月12日(日)



世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1

TEL 03-5450-9581 <http://www.mukaijunktichi-annex.jp/>

向井潤吉と文学一連載小説の挿絵と装幀を中心に

2014年12月20日(土)～2015年3月22日(日)



世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

開館10周年 宮本三郎の仕事1960's-1970's
 絢爛な色彩の神話世界へ

2014年12月20日(土)～2015年3月22日(日)